

## 高原のすみれの花

2013年5月13日

澤田 繁 著

“すみれの花さく頃”♪ なぜかすみれを見ると頭に浮かび口走ってしまう。

このフレーズの繰り返しでも、すみれを見ていれば飽きることがない、というかここしかしらないで50年間すごしてきてしまいました。子供の頃どうして知ったのかは思い出せません、わたしにとっては、このフレーズを歌えば明るくなり春の喜びを感じることができます。

清水高原では、いたるところにすみれが咲き春のおとずれを告げます。野のすみれは、点々と咲いていることが多いのであまり目立たないが、ところどころ勢力がまして高い密度で繁殖してすみれの絨毯と程はいかないが密集する、こうなるととても綺麗で春の感じとすみれの可憐さで和やかな気分が増していつもでもそこにいたい気持ちになる。

もっとも多いすみれは上の写真の種類です、葉が丸くうす紫色の花がほとんどです。ときおり中の写真のすみれがあります、時期的には上のすみれよりやや早めに咲き、葉は長細く、花は上の花より広がりがなく色は紫がやや濃いすみれ。



下の写真は、散策をしていたら発見した白いすみれ、種類は上の写真と同じと思われる。今まで山のすみれは紫と思い込んでいたのが発見が遅れた原因です、野草図鑑を見るといろいろな種類のすみれがあり、驚いて本を閉じてしまいました。

歌詞が気になり、ネットで調べて見ました。恋の歌宝塚歌劇団など出てきて勉強になりました。途中からのフレーズと言うことも、では途中からの歌詞です。

歌詞が気になり、ネットで調べて見ました。恋の歌宝塚歌劇団など出てきて勉強になりました。途中からのフレーズと言うことも、では途中からの歌詞です。

すみれの花咲くころ  
はじめて君を知りぬ  
君を想い日ごと夜ごと  
悩みしあの日のころ  
すみれの花咲くころ  
今も心ふるう  
忘れな君 われらの恋  
すみれの花咲くころ

忘れな君 われらの恋  
すみれの花咲くころ

